

総合戦略プロジェクト評価シート（平成28年度実績）

担当部課等名	政策総務部 企画政策課
基本目標	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
プロジェクト	大規模公有地の有効活用プロジェクト

実施計画事業評価

	実施計画事業名	事務事業評価
01	安心して住み続けられる地域再生事業	A
02	公有財産管理運営事業	-
03	東大跡地・国立小児病院跡地の検討	A
04		
05		
06		
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> 未利用町有地の活用については、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針に基づき、活用の検討を行う。 活用にあたっては、財源確保も含めて、民間事業者等との連携も視野に入れていくが、民間事業者等が参入してくるかは不明。 	

【参考】(事務事業評価の評価指標)
A: 妥当性・有効性・効率性は良好のため現状維持
B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある
C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)

重要業績評価指標

指標名	基準値	目標値
公共施設の総延床面積	67,824㎡ (平成27年度実績値)	67,506㎡以下 (平成31年度実績値)

該当評価に
レを入れてください

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	I: 基本目標の達成に向け、講ずべき施策を構成するプロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	II: プロジェクトとしては順調に進行しているが、さらなる推進のためには、一部、事業を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	III: プロジェクト全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	IV: プロジェクトを休止・廃止する
	説明	基本目標の達成に向け、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針を策定し、次年度に策定する実施計画により計画的に事業を推進していく。また、東大果樹園跡地については、シンボル事業に選定し、具体的な活用方法は町民ワークショップなども活用して検討を行う。

今後の方向性	
来年度に向けた課題や意見等	公共施設再配置・町有地有効活用については、策定方針に基づき、今後、10年間に実施していく具体的な内容を実施計画としてとりまとめていく。また、東大果樹園跡地については、アンケート調査や町民ワークショップなどを開催し、町民意見等を聞きながら、具体的な活用方法について検討する。

評価者 [担当主管部長]	
<input checked="" type="checkbox"/> ① 継続	<input type="checkbox"/> ② 一部改善
<input type="checkbox"/> ③ 全面的な見直し	<input type="checkbox"/> ④ 休止・廃止
意見等	今後のまちづくりを考える上で、公共施設やインフラを適切にマネジメントしていくことは重要であるため、今後策定される実施計画等を着実に推進しながら、町有地の有効活用策を検討する必要がある。